

特別展

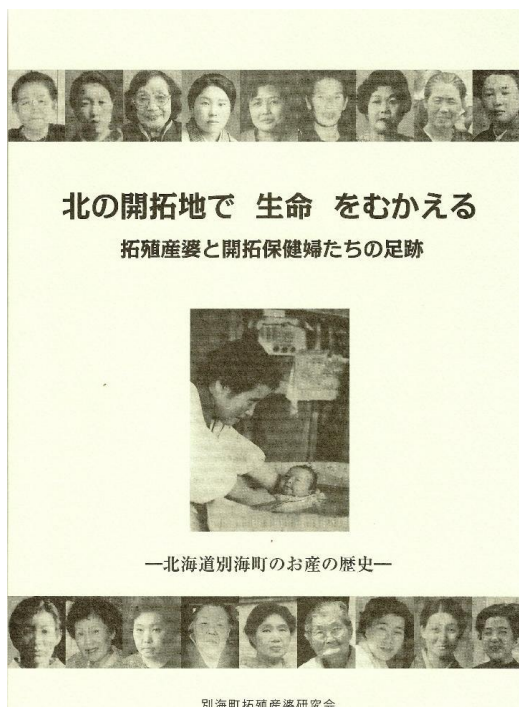
「北の開拓地で生命をむかえる

—拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡～別海町お産の歴史～」

- 期間 令和2年2月4日(火)～16日(日)
- 場所 別海町図書館ロビー
パネル展示のほか、お産の介助道具の展示も
します。(右写真)

関連事業ふるさと講座特別版

- 日時：令和2年2月22日(土)
午前10時30分～12時
- 場所：別海町郷土資料館
- 内容：「北の開拓地で生命をむかえる—拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡～別海町お産の歴史～」
講師：別海町拓殖産婆研究会
清水節子氏、小泉久美子氏
- 定員 30名(2月4日から受付を開始
します。2月21日(金)までに電話・FAX
・メールにて氏名・電話番号をご連絡くださ
い。)



今年度の特別展は、左の調査報告書を元に別海町拓殖産婆研究会の清水節子さん(元別海町母子健康センター助産師)、小泉久美子さん(元別海町役場保健師)の協力により開催します。

お二人は、平成24年(2012)から5年にわたり調査を行いました。その内容は、広大な面積を有する別海町に開拓に入った入植者たちを支えていた助産師たち、昭和初期の第2期拓殖計画の中で配置された「拓殖産婆」、その後の「開拓産婆・開拓助産婦・開拓保健婦」など生命を司る職務を全うした人々を別海町の歴史から忘れ去られないようその存在を掘り起こしたものです。

別海町開拓の歴史を学び直し、地域の人達や家族の方々の貴重な情報を得、その消息を辿り、公文書などの調査も行っています。

写真、図、資料などを豊富に使い、162ページという内容ともに厚みのある調査報告書となっています。非売品のため図書館での閲覧となりますが、ぜひ、お読みください。

特別展では、調査報告書を凝縮した内容となりますが、講座なども開催しますので、足を運んでいただきたく思います。

ウィンタースクールを開催しました。

「昔の遊び、凧づくりに挑戦しよう！」

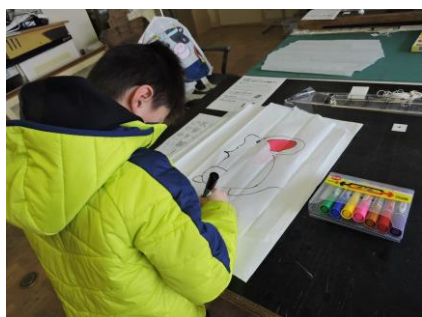
1月11日（金）ウィンタースクール「昔の遊び、凧づくりに挑戦しよう！」を参加者11名で実施しました。

童謡「お正月～もういくつ寝るとお正月、お正月には凧揚げて～」とあるように、凧上げは、昔の子どもたちの遊びの定番でした。

凧の歴史、凧上げをする意味や由来を説明した後、六角製の和凧を作成しました。和紙に絵を描き、骨組みの竹ひごを付け、糸で補強します。細かい作業がたくさんあり、悪戦苦闘しましたが、参加者全員思い思いの凧が完成しました。

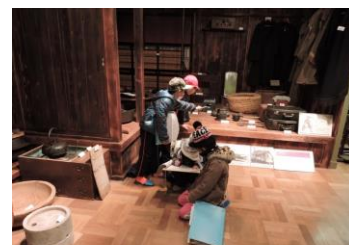
●参加者の感想

- ・よくできた。がんばってできました。きれいにえをかけた。
- ・いとをとおすところがむずかしかった。
- ・一ばんたのしかった。



この時期の郷土資料館

12月から2月にかけて、町内小学校3年生の団体来館が多くなります。社会科で「昔のくらしと道具」という授業に入るからです。実際に昔の道具を見るには、当館が最適で、資料も豊富に展示されています。また、炭アイロン・洗濯板・湯たんぽ・灯油ランプ・せんべい焼きなど、実際に道具使う体験も行っています。ほぼ毎年町内8校の児童たちがにぎやかに来館してくれます。



別海町郷土資料館だより No.247

発行日 令和2年2月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

令和2年明けましておめでとうございます。今年度から老朽化した郷土資料館の整備事業を進めています。豊富な資料「別海の宝」を恒久的に未来に伝えるには、ご利用いただくみなさんの意見も重要なことかと思えます。忌憚の無いご意見をいただければ幸いです。(K.I)